

# 会議報告書

令和3年 月 日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

## (1) 概要

議 題	「(仮称) 峰高エリア 100」整備の高校生 WS 会議 概要報告
日 時	令和3年6月22日 午後5時30分～午後7時30分
場 所	ルーツ (京丹後市未来チャレンジ交流センター)
出席者	石嶋・田崎・本城・稲本・能勢・大垣 高校生9名 (1年生:男子5・女子4)

## (2) 会議内容

・第2回目のテーマは、やってみたいことやアイデアを整理と実現する手法を考えながら図化(設計)をするテクニックを大垣氏から説明と実技

## (3) 意見交換内容

### ※大垣氏から図化(設計)の手法説明

- ・やってみたいこと(行為・場所・気持ちに系統づけ)が要望
  - ・建築設計には、要望内容と制約条件を加味した設計
  - ・要望には優先度での検討。制約は学校という場所(ハード面での制約)であることの確認
  - ・記念事業で整備された「エリア100」を将来とも運営出来ること(生徒運営の持続性)
  - ・実現性の検討(制約として学校との調整が必要)
    - ①行為と場所の関係性の考慮
    - ②場所と既存施設との関係の考慮
    - ③行為と既存施設との関係考慮
- 3つの関係性を考慮してトレーシングペーパーで実技練習

### ※実技練習

- ・要望内容の出来ることを考える(可視化する=図化する)
- ・実際の家庭経営室の1/10スケールの図面の中に図化する(事例写真などを活用)
- ・やりたいことの場所との関係を考慮して部屋での位置を考えるなど

### ※大垣氏の実技指導をしながらの感想

3つの関係性を考慮して実際に家庭経営室の中に何をどのように置くかなどが描かれているので、発表会が楽しみ

### ※感想

高校生が自分で描いて発表する体験の機会を持てたことは、100周年の記念事業を生徒と一緒に創りあげたことにつながると確信(この取り組みこそ記念事業では・・・)

在校生がエリア100を活用することが記念事業で整備する目的であること

家庭経営室に一方的な物品整備では、生徒が持続的に活用できるか疑問

家庭経営室に、峰山高校100周年記念碑(記念物)を整備するのではなく、生徒がずっと活用できる・活用する整備を目指すことを再確認

### ※今後の日程について

- ・7月第2週目(中間試験後)に高校生の考えた図面の発表の機会
- ・7月最終週に高校生の考案した図面を基に大垣設計士による最終案を話し合い
- ・8月上旬に大垣設計士によるパース図を完成させる
- ・パース図面に基づいて、必要な物品などのリストアップ検討

次回の日程調整は、7月14日(水)に開催

## (4) 備考 各自の書込み内容と会議の様子



